

# 中小企業のDX伴走支援

インタビュー 赤羽 聡社長

奈良事務機は昭和41年に設立され、本年で60周年を迎える。コピー機等の事務機器販売会社としてスタートした同社は、令和4年に株式会社フォーバル(東証8275)の完全子会社となり、現在は中小事業者の課題解決への取り組みとしてDX伴走支援をメインとしたコンサルタント事業を展開している。日進月歩のデジタル社会をリードし確実なDXサポートを提供するため、DXマーク認証、EGSマーク認証の取得、サイバーセキュリティお助け隊事業者認定などの資格取得の実績を積み重ねるとともに、20人の社員の資質・能力向上にも取り組んでいる。中小事業者が多い奈良の地で新たな挑戦を続ける同社の取り組みについて、赤羽聡社長にお話をうかがった。

(聞き手は田中篤則・奈良新聞社代表取締役社長)



## 新たな挑戦を

### ■事務機器販売事業から コンサルティング事業へ

「このたびは設立60周年おめでとうございます。御社の事業内容は、

赤羽 ありがとうございます。設立当初は事務機の販売でスタートしました。しかし25年ほど前から、業界全体が厳しい状況になってきました。インターネット時代になってから顧客との情報格差がなくなり、欲しいモノは顧客が自ら決める時代になってきたのです。当然、営業が訪問してオフィス改善の情報を持って行ってもそこに価値がなくなってきたのです。そんな市場変化もあり、令和4年12月1日にフォーバルの完全子会社になりました。私はもとよりフォーバルの社員ですが、今では奈良事務機の3代目社長です。

着任してからこの3年間、奈良事務機の事業の再構築を行ってきました。フォーバルというのはどういう会社ですか。

赤羽 二つあります。一つ目は、中小企業に情報通信のコンサルティングをする事業です。OA機器はもちろんですが、情報セキュリティ、WEB構築、クラウドサービスなどを手掛けています。二つ目は中小企業に経営コンサルティングを提供する事業です。約4万8000社の中小企業のDX、環境、人材、海外進出などの伴走支援をしています。全国展開している企業で、奈良事務機はその子会社のひとつです。

赤羽 企業支援としては、売上拡大と業務効率改善、リスク回避の三つの支援をしています。三つとも最終的には事業の利益に直結するので、それらを通じて顧客の成長と発展を支援していきます。

まず最初に売上拡大ですが、主にマーケティング支援を行っており、デジタルツール活用した新規顧客獲得をしたりしています。具体的にはホームページを作ったりSNSを駆使したりして集客し、顧客を増やして売上を上げます。支援している顧客にはすでに集客が成功して新規6

件獲得、1千万円ぐらいの利益貢献ができています実績もあります。

次に業務効率改善、こちらはコスト削減の支援です。中小製造業は委託元の得意先が限定されており、新たな得意先を開拓して販売量を増やすことは困難です。すなわち売上高を上げるのが難しいのなら原価を適正に管理すれば、やはり利益を残すことができるわけです。労務費や材料費などの原価計算をし市場に合った価格に適正化、それを得意先に提示していくことで価格転嫁が実現します。本年1月1日から下請法が改正されて中小受託取引適正化法(取適法)が施行されたタイミングですので、今後案件は増えてくると思います。

最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 中小企業の伴走支援で新しい挑戦をしていきたいと考えています。これまでDXマーク認証、EGSマーク認証を取得したり「サイバーセキュリティお助け隊」事業者として認定されたり、さまざまな形でその実績を認められてきました。これらの実績を生かして、今後は在宅勤務をメインにしたデジタル女子の育成とかに取り組んでいきたいと考えています。奈良県は女性の就業率が一番低いのでやがてです。ベテランの女性を育てて介護で通電車通勤できない潜在労働力が多いです。そんな方々にも企業支援ができないか、模索しています。そして奈良の中小企業とともに当社も成長していきたいと考えています。今後奈良事務機という名前に捕らわれずに、中小企業の伴走支援をする事業を主体に成長していくことが目標です。その目標のために、挑戦を続けていきたいと考えています。

赤羽 中小企業の伴走支援で新しい挑戦をしていきたいと考えています。これまでDXマーク認証、EGSマーク認証を取得したり「サイバーセキュリティお助け隊」事業者として認定されたり、さまざまな形でその実績を認められてきました。これらの実績を生かして、今後は在宅勤務をメインにしたデジタル女子の育成とかに取り組んでいきたいと考えています。奈良県は女性の就業率が一番低いのでやがてです。ベテランの女性を育てて介護で通電車通勤できない潜在労働力が多いです。そんな方々にも企業支援ができないか、模索しています。そして奈良の中小企業とともに当社も成長していきたいと考えています。今後奈良事務機という名前に捕らわれずに、中小企業の伴走支援をする事業を主体に成長していくことが目標です。その目標のために、挑戦を続けていきたいと考えています。

赤羽 企業支援としては、売上拡大と業務効率改善、リスク回避の三つの支援をしています。三つとも最終的には事業の利益に直結するので、それらを通じて顧客の成長と発展を支援していきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 二つあります。一つ目は、中小企業に情報通信のコンサルティングをする事業です。OA機器はもちろんですが、情報セキュリティ、WEB構築、クラウドサービスなどを手掛けています。二つ目は中小企業に経営コンサルティングを提供する事業です。約4万8000社の中小企業のDX、環境、人材、海外進出などの伴走支援をしています。全国展開している企業で、奈良事務機はその子会社のひとつです。

赤羽 企業支援としては、売上拡大と業務効率改善、リスク回避の三つの支援をしています。三つとも最終的には事業の利益に直結するので、それらを通じて顧客の成長と発展を支援していきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。



DXアドバイザー活動

■売上拡大・業務効率改善  
リスク回避の三つの支援  
— 具体的にどのような支援をされるのですか。

赤羽 企業支援としては、売上拡大と業務効率改善、リスク回避の三つの支援をしています。三つとも最終的には事業の利益に直結するので、それらを通じて顧客の成長と発展を支援していきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

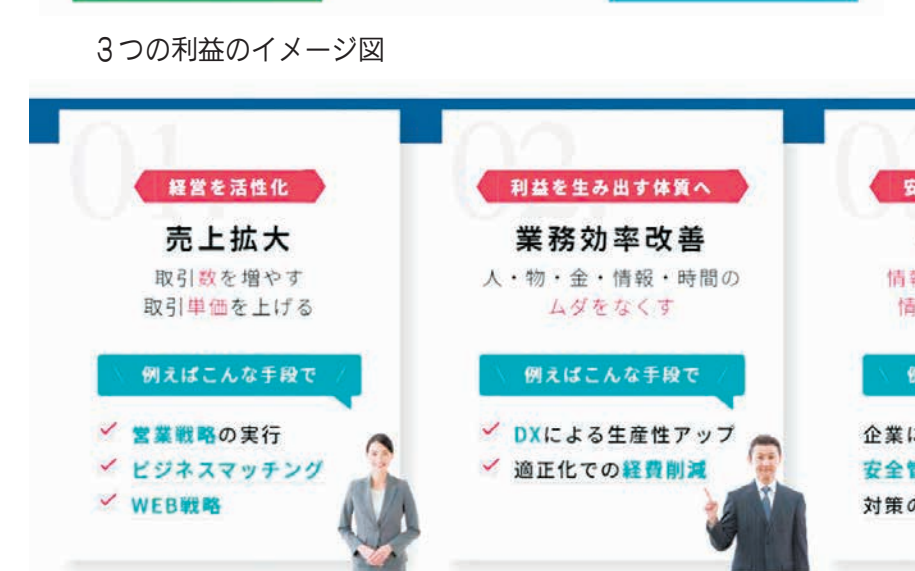
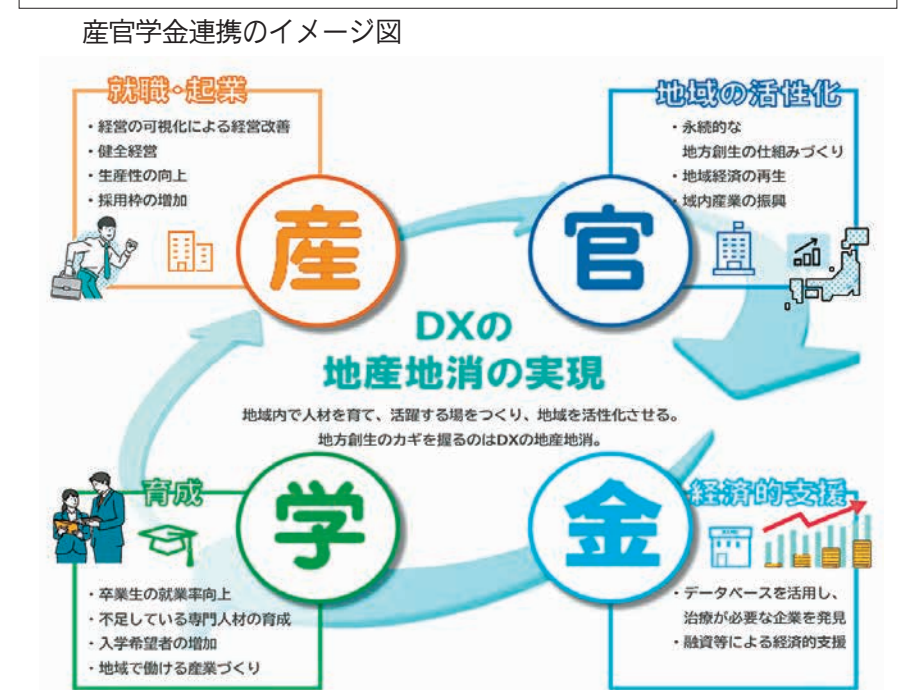
赤羽 最後のリスク回避ですが、具体的にはセキュリティ対策が挙げられます。サイバー犯罪の高度化により企業のネットワークは危機に瀕しています。当社のセキュリティ対策はツールもありますが、具体的なリンク力があります。三つの困りごとを解決する適切な提案をするので、お客様に自然に受け入れられていきます。

### 奈良事務機が取得

県内第1号 中小を伴走支援へ

DXマーク認証

DXマーク取得記事  
奈良新聞 2023年4月25日付掲載



#### ■株式会社フォーバル

中小企業にビジネスフォン、OA機器、セキュリティサービス、ウェブサイト作成サービス等を販売する企業。昭和55年に新日本工販株式会社として設立、平成3年にフォーバルに改称。代表取締役会長・大久保秀夫(創業者)、代表取締役社長・中島将典。資本金41億5000万円。従業員・連結で1815人・単独635人(平成31年現在)本社・東京都渋谷区神宮前。

#### ■DXマーク認証

DXマーク認証とは、一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会が、国が策定した情報処理促進法、不正競争防止法にのっとり、中小企業のDX化を推進し進めべく必要な対応項目を評価し、認証する制度。

DX化に向けて必要な4大分類であるDX推進体制、デ

#### ■ESGマーク認証制度

ESGマーク認証は、一般社団法人中小企業セキュリティ推進協会が、中小企業のDX推進やデジタル人材育成など、環境・社会・企業統治に対する取り組みを第三者として認証するもの。この取り組みによって、企業価値を高め、長期的に持続可能な成長を遂げることで、社会的責任を果たすことが可能になる。

#### ■サイバーセキュリティお助け隊

サイバーセキュリティお助け隊は、経済産業省管轄の独立行政法人情報処理推進機構が、中小企業に対するサイバー攻撃への対処として不可欠なサービスを提供する。民間事業者から提供されるサービス。見守り・駆け付け・保険を中心とした、ネットワークの監視、末端監視の両方を併用し、多層防御による強固なセキュリティ監視を可能にする。

#### 沿革

昭和38年11月 木田印刷製作所として奈良市西来辻町で発足  
昭和41年9月 株式会社奈良事務機を設立  
昭和53年9月 奈良市北之庄町の現在地に社屋を新築移転  
昭和59年9月 橿原支店を開設  
平成6年1月 新社屋完成  
平成6年7月 株式会社奈良イトーキを設立  
平成6年11月 文具宅配サービス「オフィスクラブ」開始  
平成12年2月 シャチハタXスタタンパー製造認定  
平成13年9月 オフィス通販「カウネット」販売開始  
平成25年12月 キヤノングランドアスロン2012シルバー6優勝  
平成27年12月 キヤノンパートナーサービスプログラム認定証A A受賞。平成28年12月に連続受賞  
令和4年12月 株式会社フォーバルの完全子会社化  
令和5年3月 DXマーク認証を取得。奈良県第1号  
令和6年10月 IPA(経済産業省管轄)「サイバーセキュリティお助け隊」事業者として認定  
令和7年1月 ESGマーク認証を取得。奈良県第1号

#### 赤羽 聡

奈良事務機は昭和41年に設立され、本年で60周年を迎える。コピー機等の事務機器販売会社としてスタートした同社は、令和4年に株式会社フォーバル(東証8275)の完全子会社となり、現在は中小事業者の課題解決への取り組みとしてDX伴走支援をメインとしたコンサルタント事業を展開している。日進月歩のデジタル社会をリードし確実なDXサポートを提供するため、DXマーク認証、EGSマーク認証の取得、サイバーセキュリティお助け隊事業者認定などの資格取得の実績を積み重ねるとともに、20人の社員の資質・能力向上にも取り組んでいる。中小事業者が多い奈良の地で新たな挑戦を続ける同社の取り組みについて、赤羽聡社長にお話をうかがった。

#### 赤羽 聡

赤羽 聡社長がインタビューに応じて話している写真。背景には大きな文字で「新たな挑戦を」とある。